

助数詞「匹」と「頭」の用法考察

陶 萍

1. はじめに

日本語の助数詞は、事物をその状態や形状から捉えて分類する、カテゴリー化の働きを持ったものである。現在ではかなり整理され、例えば、生物の場合、人間は「(ひと・ふた)り、にん」、動物は「匹、頭」で、無生物の場合、細長いものは「本」、薄くて平らなものは「枚」、書籍・ノートなどは「冊」で数えるのが一般的となっている。

本稿では、動物を数える主要助数詞「匹」と「頭」に焦点を絞り考察する。普通、小さい動物は「匹」、大きい動物は「頭」で数える。では「大きい」と「小さい」の境界線はどこにあるのだろうか。「匹」と「頭」の意義素及び使用選択は、数える対象の動物と意味的に何らかの範疇分けがあるのか否かを明らかにしたい。

2. 先行研究

助数詞に関しては多数の研究が蓄積されているものの、動物を数える「匹」と「頭」に関する先行研究はあまり多くない。主に以下の三つが挙げられる。

松本曜(1991)は、日本語の類別詞の意味分析を「原型意味論」の枠組みで行い、個々の類別詞の意味構造とそれらが構成する体系の性質を考察している。その中で、「匹」と「頭」に関して以下のような結論が出されている。

「匹」:「頭」と同じレベルで対立しているのではなく、「頭」に対して上位語としての性格を持っている。「有生」「非人間」の二つの条件のみを持つ。

「頭」:大きい動物に用いられる類別詞で、「人間の標準の大きさより大きい」ことを必要条件とする。

飯田朝子(1999)は、新聞記事を対象にデータを採取し、「匹」と「頭」の特徴を考察している。結論としては、以下の通りである。

「匹」:(1)哺乳類から爬虫類、両生類、魚類、そして昆虫類に至るまで、多くの種類の生き物を数える際に用いられる。人類と鳥類に限っては、「匹」で数えることはできない。

(2)有生性を持つ物を数える場合に二段階の用法を持っている。すなわち、人間ではない動物一般を数える「匹①」と、動物の中でも鳥類を除く、小型・中型の動物を数える「匹②」である。

「頭」:(1)典型的には大型の哺乳類の動物を数えるのに用いられる。

- (2) 数えられる動物の体の大きさだけによって決められているのではなく、人間にとって「有意義な」動物である場合にも用いられる。

藤原多賀子(2004)はアンケート調査を通して認知的角度から「匹」と「頭」の使用選択について分析している。この研究からは、以下のような結論が出された。

(1) 対象を数える時の認識の仕方として、第一段階と第二段階がある。第一段階で形態的特徴が中間的なものは第二段階で他の要素(「a. 相対的特徴(大きさの尺度)」「b. 機能的特徴(一定の機能をもっているか)」「c. 排他的特徴(同類項よりも容姿や頭脳が優れているかどうか)」など)を使って認識される。

(2) 類別詞の選択には形態的特徴だけでなく、話者が対象をどこまで細かく捉え、何に注目するかが関わっている。類別詞の決定は、動的で主体的な行為である。

以上の先行研究をまとめると、大凡次のようになる。

- a. 「匹」は「頭」の上位語である(「匹」>「頭」)。
- b. 「頭」は大型の動物を数える。
- c. 「匹」には「匹①」(人間ではない動物一般を数える)と「匹②」(小型・中型の動物を数える)の二段階の用法がある。
- d. 助数詞の選択は認知活動(どこに注目するか、使い分けの動機づけ)に関わっている。

このように、「匹」と「頭」の研究は、松本氏の意味構造に関する分析(「匹『有生・非人間』」は「頭『人間の標準的大きさより大きい』」の上位語)、飯田氏の「匹」の二段階用法に関する分析(①動物一般を数える、②小型・中型の動物を数える)、藤原氏の認識の仕方に関する分析(①動物の形態、②主体的な行為)によって、研究が進捗させられてきている。

本稿では先行研究を踏まえ、改めて「匹」と「頭」の意味的特徴を検討し、それぞれの意義素を明らかにしたい。その視点として、特に、①両助数詞が併用される事例の分析による区分意識、②総称や慣用、比喩などの表現例からの分析、③文体上の使用区別からその意味特徴を探っていく。

3. 調査方法

書き言葉(フォーマル度が高い)と話し言葉(フォーマル度が低い)という二つの観点から「朝日新聞」と「Yahoo! 知恵袋」のデータを中心に「匹」と「頭」の使用状況を考察する。こうした文体の異なるコーパスにおけるデータにより、それぞれの性格と特徴を比較しながら、助数詞の選定の視点について分析が可能である。使用コーパスは以下のようである。

①朝日新聞

「聞蔵Ⅱfor ビジュアル」では1879年創刊から今日までの約1200万件以上の記事と広告が検索できる。本研究では、そのうち、近年のデータを調査対象とする。

検索対象：2009年1月1日～6月30日までの半年間。

②「Yahoo! 知恵袋」『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（略称：BCCWJ）（2009年度版）

BCCWJ は、現代の日本語の書き言葉の全体像を把握できるように集められたサンプルが約1億語収録されている。「書籍」、「雑誌」、「白書」、「Yahoo! 知恵袋」「国会会議録」などの11ジャンルによって構成されている。本研究では、そのうち、インフォーマルな特徴を持つ「Yahoo! 知恵袋」を調査対象とする。

検索対象：「Yahoo! 知恵袋」（2005年、45725件）

用例の採取方法として、何れも「匹」「頭」をキーワードにし、検索することを原則とする。

4. 「朝日新聞」の調査結果

「朝日新聞」において「匹」と「頭」は各紙面に広く使われているが、「頭」（606例）より「匹」（723例）の使用がやや多い。以下、それぞれの使用状況を検討する。

4.1 全体に見られる傾向

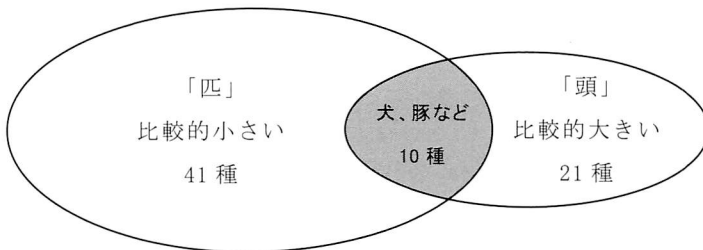


図1 「匹」と「頭」の使用傾向

①「匹」で数えるものは全部で66種類^①、「頭」で数えるものは全部で35種類である。「頭」より「匹」の使用範囲が非常に広い。これは「動物は「匹」で数えるのを原則とする」^②という「朝日新聞」の用語基準とも関わっていると考えられる。

② 類の区分から見ると、図1で示したように、「匹」のみのカテゴリーに分類されるのは全41種類の動物である（魚、猫、蛙、鼠、蜂、螢、オタマジャクシ、蜥蜴、海老、蟹、虫、狼、プレーリードッグ、泥鰌、水母、貝、ラッコ、マングース、コウモリ、海鼠、海星、狸、蝸牛、イグアナ、海牛、狐、鷲、蚯蚓、蜚、蠅、蛭、ゴキブリ、ニルガイ、ハムスター、モグラ、蚕、牡蠣、蜻蛉、守宮、鴉、蟻）。一方、「頭」のみのカテゴリーに分類されるのは全21種類の動物である（牛、コアラ、鯨、パンダ、ゴリラ、鹿、象、猪、オリックス、虎、ジュゴン、獅子、河馬、カモシカ、コリデール、ヌー、犀、海豹、アルパカ、トド、駱駝）。

③ 出現頻度上位の動物を種類から見ると、「匹」には「魚、犬、猫、猿、蛙、蜜

蜂、蛭（比較的小さい）」などがあり、「頭」には「馬、牛、コアラ、クジラ、パンダ（比較的大きい）」などがある。助数詞の選定は動物の大きさと関係が深いことが分かる。

④ カテゴリー間に重なるもの（図1「犬、豚などの部分」）には全10種類の動物（犬、イルカ、豚、羊、ヤマネコ、カメ、クマ、チンパンジー、猿、蝶）がある。

以上より、「頭」は大型の動物、「匹」は小型・中型の動物を数えるという区別のあることが明確である。従来の説はこの点で正しいことが確認される。

しかし、実際には「匹」と「頭」とが併用される事例も多数見られる。これは大量のデータを分析したことによって浮かびあがった事実と言えよう。次節では、その区分の意識を問う。

4.2 「匹」と「頭」が併用される10種の動物の分析

ここでは、「匹」と「頭」のカテゴリーの間に重なりが見られる類に重点を置き、10種の動物に使われている助数詞「匹」と「頭」の意味的特徴を検討する。（10種の動物を新聞における出現順で検討する。また、取り上げる例文¹³⁾は用例数の多い代表的なものとする。記事の日付と紙面は用例の後に示す。）

4.2.1 犬について 「匹」111例>「頭」22例

- (1) 東京都、埼玉、千葉、神奈川県内の飼い犬の数は約 158万匹（07年度登録数）と、5年間で約 26万匹、2割増えた。2009/4/3 マリオン
 - (2) 6月8日までに、犬4件（計6匹）、猫3件（計16匹）の掲載依頼があり、うち5件で譲渡が成立した。2009/6/11 総合
 - (3) 体重70キロ前後の大型犬ばかりだ。一頭で毎月3万8500シリング。2009/1/17 総合
 - (4) 250人が1万2千円を出しあうと、盲導犬1頭が育成できる。2009/3/19 社会
- これらの例を見ると、「匹」は普通・一般的な犬を数えるのに対し、「頭」は大型犬を数えることもあれば、盲導犬のような特殊な訓練を受け、特定の役目を持って、人間に役立つような犬も数える場合に使用することが分かる。盲導犬を「頭」で数える理由は、飯田氏が指摘するように「人間にとって「有意義な」動物である」からであろう。

4.2.2 イルカについて 「匹」1例<「頭」14例

- (5) ANA クラウンプラザホテル大阪（大阪市北区）が館内のチャペルに導入した新映像システムは、～センサーが人の動きを感知し、足元に水の波紋をつくったり二匹のイルカが先導してくれたりする仕掛けだ。2009/5/13 経済
- (6) 千葉県富津市沖の東京湾にジャンプしながら泳ぐイルカの群れが現れた。岸から5キロほど沖で、17日には約 50頭の群れが北東に移動する様子が観察された。2009/1/19 社会

「イルカ」は鯨目の哺乳類であるため、鯨と同じく「頭」で数えるのが一般的ではないか。「匹」で数えている用例は（5）のような結婚式場の仕掛けについて書かれた

場面のみであった。この場合、自然の海ではなく、人工的に作られた環境に生息するイルカに関する記事であり、また、人間に親しみやすさをアピールするという点から哺乳類というより「魚」相当のものとして扱われ、「匹」が用いられているのであろう。

4.2.3 豚について 「匹」6例<「頭」38例

- (7) 昨年の大みそかの朝、馬福楽さん(64)は家の裏で飼っている 2匹の豚に与えるトウモロコシをほぐしていた。2009/1/15 社会
- (8) 5匹の子豚と母豚が、広いさくの中で元気よく土をほじくりエサをあさっていた。2009/4/7 オピニオン
- (9) 5月2日、カナダ・アルバータ州の養豚場で 2020頭のうち450頭が新型ウイルスに感染していたことがわかった。2009/6/1 総合
- (10) 政府は業者に対し、豚1頭あたり100エジプトポンド(約1800円)程度の補償の可能性も示しているが、2009/5/9 外報

豚は「匹」で数えるか「頭」で数えるかはっきりしないが、「頭」の使用が優勢である。内容から見ると、(7)(8)のような個人に関わっている、やや私的な状況に関する場合は「匹」が使われ、(9)(10)のような公共に関わっている、公的な状況に関する場合は「頭」が好まれる傾向が見受けられる。

4.2.4 羊について 「匹」2例<「頭」20例

- (11) ハッサン氏はガザ側からの注文に応じて食料や燃料、電気製品などをカイロなどで調達して搬入、ガザ住民の「生命線」を担ってきた。トンネル「通過料」は発電機1台150ドル、羊1匹100ドルが相場だという。2009/1/19 総合
- (12) それは群れからはぐれた 1匹の羊。スピードが出ていたうえに慌ててハンドルを切ったため、車は二回三回と大回転。2009/4/21 オピニオン
- (13) マザー牧場が、今春同牧場で生まれる赤ちゃん羊の数を当てるクイズを出題。～「今年は 60頭の母羊が出産予定」「双子が生まれることもある」がヒント。
2009/2/26 be 木曜

- (14) ある牧場では 100頭の羊を放すと15日間で草を食べつくし、120頭の羊を放すと10日間で草を食べつくします。～後から加えた羊は何頭ですか。(入試問題) 2009/5/30 be 土曜

用例数を比べると「羊」は「頭」で数える傾向が見られる。「匹」を使っている例を見ると、(11)は人間に身近な存在としての羊を売買している場面、(12)は日常生活で起こった事故に関するもので、どちらも私的な性格を持つ記事である。一方、「頭」を使っている用例は、(13)は古くから家畜として飼育され、飼育数を数える場合、(14)は入試問題に出題される専門の場面などである。

4.2.5 ヤマネコについて 「匹」1例<「頭」11例

- (15) 05年10月17日、餌のエビに誘われて来た性別不明の ヤマネコを斜め上から撮影した。島全体に 2500匹未満しかいないとされ、同研究所九州支所の安田雅俊・主任研究員は「生態がほとんどわかっていない幻のネコ」という。2009

/3/16 科学

- (16) (報!) ツシマヤマネコの保護、悩み増えた 07 年、島南部に 23 年ぶり 1 頭【西部】～島南部では絶えたとみられていたが、07 年に 23 年ぶりに 1 頭の生息が確認され～その後、環境破壊や交通事故、野犬の被害などで、北部では 100 頭前後に減った～。2009/5/2 総合

ヤマネコは普通の猫より大きい、「頭」で数えるほどの大きさでもないため、(15)のように「匹」で数えるほうが妥当であろう。しかし、今回採集した例はほぼ「頭」で数えている。11 例の用例を見ると「ヤマネコの数が急激に減少し、ヤマネコの保護を呼び掛ける」という社会的・公的な発言の記事がほとんどである。大きさよりも、貴重で、大切な存在であることを強調するのに「頭」が用いられているのであろう。

4. 2. 6 カメについて 「匹」9 例＝「頭」9 例

- (17) 昨秋から同市に、「ワニガメが 2 匹いる」との目撃情報が相次いでいた。2009/6/23 社会
- (18) 2 年ほど前から川で拾ったカメが、いつの間にか 7 匹になった。2009/6/4 オピニオン
- (19) 怪獣ガメラのような見かけで、かみつく力の強い外来種の北米カミツギメと ワニガメが 4～5 月に東海地方で相次いで見つかり、警察などを通じて 9 頭が保護された。2009/6/5 社会
- (20) 名古屋市守山区、愛知県豊橋市、春日井市、瀬戸市、豊田市、岐阜県各務原市の 7 地点で、甲長 20～40 センチほどのカミツギガメ計 7 頭、ワニガメ計 2 頭が見つかった。2009/6/5 社会

「カメ」の場合、「豚」と同じ傾向が見られる。(17) 公的な性格の記事であるが、身近な存在としてカメを目撃したという話し言葉を記事にした場合、(18) の個人の話で、やや私的な観点からの発言の場合など、私的な場面に関するものは、何れも「匹」が選択されている。一方、(19) (20) のような公に関わりのある記事で、やや公的な発言の場合は「頭」が選択されている。

4. 2. 7 クマについて 「匹」3 例 (アライグマ) <「頭」9 例

- (21) 東京大医科研の堀本泰介准教授らは、西日本の 3 地域と東日本の 1 地域で、05 年以降に捕獲されたアライグマ 988 匹の血液を調べた。その結果、10 匹の血液から、過去に H5N1 型に感染したことを示す抗体を検出した。2009/4/5 総合
- (22) 生後 2～3 カ月の野生のクマを人工保育するのは、同施設では初の試み。生後 3 カ月の 3 頭が、職員が差し出す哺乳 (ほにゅう) びんのミルクを勢いよく飲んでた。2009/4/16 総合

9 対 3 という結果から見ると、クマを数える時は「頭」が優勢である。一方、「匹」の 3 例は全てアライグマの例であり、アライグマはクマの中でも比較的小さい。このような特徴から「匹」が用いられたのであろう。また、アライグマはその可愛らしい

風貌からペットとして人気が高く、身近な存在として「匹」で数えていると考えられる。

4.2.8 チンパンジーについて 「匹」13例>「頭」7例

(23) ジェジェがいる野生のチンパンジーの群れ(現在 13匹)は、ギニア東部のボツソウ村に近いバン山(標高約 700メートル)で暮らす。2009/1/31 総合

(24) とくに野生のチンパンジーの生息地として知られ、松沢教授は少なくとも 300匹以上が暮らしていると推定している。2009/2/7 総合

(25) 福岡市動物園のチンパンジーが、風邪予防に毎朝ネギを食べている。～4頭のうち 3頭は大好物で、1.5 キロを 10 分ほどでたいらげる。2009/1/8 総合

(26) 改装に伴い、チンパンジーの展示が復活した。～熊本県にある京大の関連施設からオス 1頭、メス 3頭が引っ越してきた。2009/4/18 社会

チンパンジーは類人猿であるが、人間より大きいということもないため「匹」で数えたほうが妥当であろう。しかし、人間に近い知能を持っている動物は「頭」でも数えることができる。また、用例 (23) (24) はやや私的な発言の記事、(25) (26) は公の性質を持っている「動物園」「～施設」のようなやや専門的で、公的な場からの発言として、「頭」が使われる傾向が見られる。

4.2.9 猿について 「匹」34例>「頭」2例 (2例の用例は同様)

(27) 同センターによると、血液検査などで花粉症と確認したわけではないが、毎年 3 月から 4 月末にかけて、約 160匹のサルのうち 3 割に症状が見られるという。2009/3/13 総合

(28) 2匹の猿との遭遇～少し気持ちを落ち着け、目を凝らしてみると、2匹の猿が我が家のガレージの中にいることが分かった～2匹のお猿の行動に少し同情した。2009/4/21 生活

(29) 日本モンキーセンターは、世界最多の 73 種、約 800頭の霊長類(サル)を飼育展示しています。2009/3/30 総合

(27) (28) のように「匹」は、生活的で、人間に親しみやすい動物として猿を扱う場合に用いられているが、(29) のように「頭」は、学術的な立場で用いられている。

4.2.10 蝶について 「匹」8例>「頭」5例

(30) 【声】 3 月 30 日に 1匹、4 月 12 日には 3匹と時を追って増え続け、このごろでは 10匹ほどが高く低く寄り添い、もつれ合いながら飛び交っている。私はチョウの乱舞に心奪われて、心地よい気分になりながら素晴らしいショーをしばらく見物する。2009/6/13 オビニオン

(31) 初蝶を黄一頭と農日誌(さいたま市)川辺了 2009/3/16 歌壇俳壇

(32) 蝶は一頭兎は一羽万愚節(習志野市)早川高士 2009/4/12 歌壇俳壇

(33) まとめて助数詞と呼ぶそうだが、ものを勘定する言葉は奥深い。生き物は匹で足りると思いきや、ウサギは羽(わ)、イカは杯(はい)、チョウは頭(とう)とも数える。2009/1/30 総合

先行研究では蝶を「頭」で数える用例は 1 例もないと飯田氏が指摘しているが、今

回の調査では蝶を「頭」で数えるのは出現率が低いとはいえ、5例採取できた。(31) (32) のような俳句の世界や、(33) のような表現規範意識の強い場面に現れたため、学術的、専門的であれば「蝶」だけでなく、他の昆虫類も大きさには関係なく、「一頭、二頭」と数えるのである。

以上、「匹」と「頭」のカテゴリー間に重なっている10種類の動物を見てきた。これらの分析を通して、それぞれの選択傾向を表1にまとめた。

表1 「朝日新聞」における「匹」と「頭」のカテゴリー間に重なる動物の選択傾向

助数詞	犬	海豚	豚	羊	山猫	亀	熊	チンパンジー	蝶	猿
匹	+	-	-	-	-	△	-	+	+	+
頭	-	+	+	+	+	△	+	-	-	-

※用例の多さを多い順から「+」「△」「-」で示す。

以上の分析と表1から見ると、「匹」と「頭」の選定はただ数える対象の大きさ(大・小)によるだけではなく、発話の場面(公・私)、親しみのあるものであるか否かなどのような心理的判定に大きく左右されるということができよう。こういった両者の差異は次の4.3で示す「匹」と「頭」のその他の用法にも見られる。

4.3 総称・慣用・比喩などの表現例における「匹」と「頭」の用法

ここからは、「匹」と「頭」その他の用法にも同様の使い分けがあることを見ていく。意義特徴がそこにも維持されているか否かを検証する。以下、「匹」と「頭」に共通している用法は①、「匹」のみの用法は②③という順番に検討していく。

①動物全般をさす用法

(34)「片足の下には千匹、先生の両足の下には、2千匹の生き物がいると言われています」その説明に、みんなは目を丸くして、「わーっ」と声を上げた。2009/6/20 夕刊 be

(35)約1万平方メートルの敷地に、ライオンやトラなどの猛獣、チンパンジーやクジャクなど24種類 200匹以上が飼われ、ポニーやヒツジなどと自由にふれあえる。2009/2/23 社会

(36)森から地上に数匹の動物が飛び出してきた。2009/4/19 総合

用例から、「匹」は非人間の有生物・種類の異なる動物を一括して数える時に使えることが分かる。これは飯田氏が「匹①」として指摘している用法と言える。また、「朝日新聞」の用語基準にも「種類の異なる動物を一括して数える場合には「匹」を使う」と規定されている(注2を参照)。しかし、以下のような用例も採集できた。

(37)当時の記録を見ると、256戸計947人が約 8千頭の家畜とともに移住したとされる。2009/3/19 外報

(38)怪獣・SF映画が44本上映 東京国立近代美術館～円谷英二が特撮技術を担当した「透明人間現わる」(49年)、怪獣映画のパイオニア「ゴジラ」(54年)、

～11 頭の怪獣が勢ぞろいする大作「怪獣総進撃」(68 年) など。2009/1/19 be 金曜

用例 (37) (38) のように、公的、専門的な場面では、「頭」も種類の異なる動物を一括して総称する用法を持つことが分かる。

②「匹」は動物以外のものが数えられる。

(こいのぼり、ジュゴンのぼり、タイ焼き、アザラシ型ロボット、おっさん、侍、男)

(39) 夏を思わせる暑さのなか、大阪府富田林市の石川では約 400 匹のこいのぼりが掲げられ、子どもたちが川に入って遊んでいた。2009/4/20 総合

(40) ある市立「海の文化資料館」屋上で、コいのぼりならぬ「ジュゴンのぼり」が、海風を受けながら青い空に舞っている。大小 147 匹。2009/4/23 社会

(41) 行列に並んでタイ焼きを買う。～このご時世、予算で妥協するのなら、いっそ目先を変えて「2 匹で 300 円」を分ける手もある。2009/2/12 総合

(42) 柴田崇徳さん 癒やしのアザラシ型ロボット「パロ」の生みの親～05 年に国内発売にこぎつけ、現在は 20 カ国以上に約 1200 匹がいる。2009/4/6 総合

(39) (40) は「こいのぼり」と「ジュゴンのぼり」を「こい」「ジュゴン」に見立てる場合に「匹」で数えている。「こいのぼり」、「ジュゴンのぼり」は風によって生きているように動くことが可能であり、本来は無生物でありながら有生性を帯びているため、有生性助数詞で数えることができるのであろう。(41) の「鯛焼き」は商品として「一個」と数えるべきであろうが、魚の形を重視して「一匹」と数えたことが推測される。また、(42) の「アザラシ型ロボット」の場合、「アザラシ型ロボット」は機械として捉えれば、「一台」或いは「一体」と数えられる。しかし、アザラシと同じ形をしていることを重視すれば「匹」でも数えることが可能となる。「アザラシ型ロボット」をペットとして可愛がる人にとっては、このロボットはアザラシ同様であり、「一匹」で数えたくなるのであろう。

(43) 現代舞台に痛快「時代劇」有川浩さん新作『三匹のおっさん』2009/3/24 be 火曜

(44) 脚本家の柴英三郎さん (82) は、第 1 回など約 10 本の脚本を書いた。「三匹の侍」「水戸黄門」などの仕事で時代劇に慣れた柴さんも当初、原作の設定に驚いたという。2009/6/6 週末 be

(45) 上映は平日午前 10 時からの 1 回。「血斗水滸伝 怒濤の対決」「一心太助 男 一匹道中記」～「花笠若衆」「千姫と秀頼」「旗本退屈男」などを 2 週間に 1 本ずつ上映する。2009/4/20 芸能

(43) (44) (45) は全て作品名である。「おっさん、侍、男」の性格を見ると、何れも独立的で、荒くれて、粗野で、野性的な人間を動物扱いして「匹」と数えていると考えられる。

③比喩表現や慣用表現中の「匹」の用法

(46) 米国土安全保障省はこの春、「極右思想を持った一匹おおかみや、小さな秘密

結社による国内テロは、我が国にとって最も危険な脅威だ」とする報告書をまとめた。2009/6/21 外報

(47) 2 匹目のドジョウ狙いの政府側の切り札は、小沢氏秘書の起訴だろう。2009/5/24 オピニオン

(46) の「一匹おおかみ」は群れを離れて一匹だけで暮らす狼の意から転じて、集団に属さず独自の立場で単独で行動する人を指す。(47) の「2 匹目のドジョウ」はことわざ「柳の下に二匹目のドジョウを狙う」から来た慣用句である。このように、「匹」はよく比喩表現や慣用表現に用いられることが分かる。

以上、書き言葉として、「朝日新聞」における「匹」と「頭」の使用状況を見てきた。両者の使い分け基準や「匹」の使用範囲が広いといった面が明らかになったと思われる。では、「匹」を原則とするという用語基準が存在しない、文体を異にするものの、上述の面はどう現れてくるだろうか。次に、話し言葉の性格を持つ「Yahoo! 知恵袋」における使用状況を前述した内容と同じ視点から順番に検討していく。

5. 「Yahoo! 知恵袋」の調査結果

「Yahoo! 知恵袋」において、「匹」は 192 例、「頭」は 29 例の使用例がある。「匹」の使用が優勢であることは「朝日新聞」と同様であるが、「匹」を原則とするという基準がないにも関わらず、「Yahoo! 知恵袋」においては、「匹」の出現頻度が圧倒的に高い。その理由として、「Yahoo! 知恵袋」が日常的な事柄について質問する場であり、インフォーマルな場面となると身近な動物、人間に親しむ動物が言及されやすくなり、大型で、巨大な動物が現れにくいことが考えられる。また、これは「匹」と「頭」の意義素によるものではなく、「朝日新聞」と「Yahoo! 知恵袋」の文体差によると説明できる。「Yahoo! 知恵袋」における両者の使用状況を見ると、以下の通りである。

5.1 全体に見られる傾向

① 「匹」で数えるものは 41 種類、「頭」で数えるものは 6 種類であり、「朝日新聞」と同じく「頭」より「匹」の使用範囲が非常に広い。

② 類の区分から見ると、「匹」のみのカテゴリーに分類されるのは全 29 種類の動物である（魚、ゴキブリ、ハムスター、蛇、エビ、蚊、亀、狼、鼠、イカ、熊、羊、クモ、ウイルス、ゴリラ、フェレット、モンスター、ヤギ、餌、蜂、精子、泥鰌、田螺、兎、蜥蜴、蟹、蟻、蠅、蚤）。一方、「頭」のみのカテゴリーに分類されるのは全 4 種類の動物である（馬、虎、パンダ、ライオン）。

③ 出現頻度上位の動物の種類から見ると、「匹」には「猫、魚、虫、ゴキブリ（比較的小さい）」などがあり、「頭」には「馬、虎、パンダ、ライオン（比較的大きい）」がある。助数詞の選定は動物の大きさに関与する傾向がここでも確認される。

④ カテゴリーの重なるものは2種類の動物（犬、虫）である。「Yahoo! 知恵袋」に出現している動物の種類が全体的に少なくなってくると、両カテゴリー間に重なる動物の種類も少なくなる。

以下はその2種の動物の用例を見ていく。

5.2 「匹」と「頭」が併用される2種の動物の分析

5.2.1 犬について 「匹」31例>「頭」8例

(48)会社には犬が3匹（室内飼い）います。2005/2/10 ストレス

(49)ちなみに私は夫と犬の3人&1匹の生活、賃貸マンション、共働き夫婦です。

2005/2/26 家計、貯金

(50)そのせいか、小さい犬には惹かれず、ゴールデンレトリバーを2頭現在飼っています。2004/9/9 動物、植物、ペット

(51)うちは以前はヨーキーを3頭飼ってましたし、今もケアーンを飼ってますが。

2005/8/9 動物、植物、ペット

「匹」は用例（48）（49）のように普通・一般の犬を数える。一方、「頭」は用例（50）（51）のようにやや特殊で、稀少価値がある犬を数えるのに使用されている。

5.2.2 虫について 「匹」11例>「頭」2例

(52)カブトムシを4匹飼っています。2005/5/23 動物、植物、ペット

(53)今晚の夕食に使おうと「ブロッコリー」を塩水につけていたんですが...青虫が4匹出てきました。2004/10/13 レシピ、調理法

(54)パラワンオオヒラタの産卵数がイマイチです。5頭取れません。スマトラヒラタは30頭ぐらい取れるのですが...同じ飼育法じゃダメなのですか？ 2005/10/2 動物、植物、ペット

(52)（53）はかなり日常的な場面である。虫は小さい昆虫で普通なら「匹」で数えるが、前述した「蝶」と同じく（54）の場合は稀少価値があり、かつ学術的、専門的になるので、「頭」で数えたのであろう。

以上、「匹」と「頭」のカテゴリー間に重なる2種類の動物を見てきた。それぞれの選択傾向を表2にまとめた。

表2 「Yahoo! 知恵袋」における「匹」と「頭」
のカテゴリー間に重なる動物の選択傾向

助数詞	犬	虫
匹	+	+
頭	-	-

5.3 総称・慣用・比喩などの表現例における「匹」と「頭」の用法

5.2で「匹」と「頭」が併用される動物を考察した。ここでは、総称・慣用・比喩などの表現例における用法を見ていく。以下の①②③の用法は全て「匹」のみに見ら

れる。

①「匹」は動物全般をさす

(55) 実際、いろんなペットを何匹も飼っていますし。2005/5/22 カウンセリング、治療

「Yahoo! 知恵袋」においては、「頭」で総称をさす用例が採取できなかった。それは「Yahoo! 知恵袋」の日常語の性格により、「頭」で数える大きい動物や、公的・専門的な発言が話題にのほりにくいからと考えられる。

②「匹」は動物以外のものも数えられる。

(人間、無生物、実在しないキャラクター)

(56) 普通の甘ったれだったら、自分の家にも一匹いるワケでしょ？ 2005/7/5 恋愛相談

(57) バカ息子 2 匹は相変わらず同じことで怒鳴られまくりの毎日です。2005/2/1 子育ての悩み

(58) しろたんのだきぐるみ (笑) 今 26 匹いるよお 2005/4/11 Yahoo! 知恵袋

(59) ポケモンの鳴き声は一匹一匹違うのですか？ 2004/9/5 ゲーム

(60) 1F ロウカで、必ずミスリルスマイルが 3 匹出現する場所があるので、そこで血液を集めることをお勧めします。2005/8/20 ゲーム

話し言葉においても「匹」のバラエティが見られる。例えば、(56) (57) のように人間でも「甘ったれ一匹」「バカ息子二匹」というような用例が採取できた。親しい人を動物並の価値におとしめている場合に「匹」が用いられているのである。また、(58) の無生物の「しろたんのだきぐるみ」では、その形を重視することで「匹」が使われている。(59) (60) の実在しないアニメーションのキャラクターが非人間有生物の特徴を強く有している場合にも「匹」を適用されていることが分かる。

③比喩表現や慣用表現中の「匹」の用法

(61) 2nd アルバム、the wolf (一匹狼とかいう日本題) も出しましたが 2005/10/17 洋楽

(62) 「グリーンバンド」って存在を耳にしましたが「ホワイトバンド」のマネっこののでしょうか？ 二匹目のドジョウみたいな 2005/9/30 事件、事故、流行

比喩表現や慣用表現中の「匹」に関しては「朝日新聞」と同じ傾向が見られた。このように両コーパスに文体差があるにも関わらず、②と③の用法においても、まったく同じように使用されていることが確認できた。

以上、新聞の性質（文体差・改まり度）と異なる、「匹」を原則とするという基準に関与されない「Yahoo! 知恵袋」における「匹」と「頭」の使用状況を考察した。異なるコーパスとはいえ、両コーパスには同じような使用傾向が見られた。

また、両コーパスの考察を通し、先行研究に指摘された点（松本氏による「匹」は「頭」の上位語、飯田氏による「匹」の二段階用法と「頭」の有意義な動物を数える用法）も確認できた。さらに、藤原氏が指摘している認知活動とも関連して、「匹」と「頭」の使い分け基準は数える対象物に対する捉え方（「公的か私的か」、「親しみ

であるか否か) が関与していることが明らかになった。

6. おわりに

本稿では「匹」と「頭」の意義素を解明するため、先行研究を踏まえ、文体を異にする大量データの分析により、①両助数詞が併用される事例の区分意識、②総称や慣用、比喩などの表現例、③文体上の使用区別の点からそれぞれの意義特徴を考察した。まず、全体的に言えることは以下の四点である。

- ①「匹」と「頭」は動物を分類する働きを持っている。
- ② 両者の使用選択は動物の大きさだけではなく、数える動物をどう捉えているかという心理的判定（公的か私的か、日常的か専門的か）によって決められる。
- ③ 動物の総称を表すとき、一般的には「匹」で一括して数えることが多い。しかし、公的・専門的な場合となると、「頭」も使用する。
- ④「朝日新聞」においても「Yahoo! 知恵袋」においても、「匹」で数えるものが多く、「頭」を遙かに上回っている。特に「Yahoo! 知恵袋」となると、人間の暮らしに密接している動物の話題が多く、「頭」よりも「匹」が用いられる傾向が強く認められる。

「匹」と「頭」のそれぞれの意義素をまとめると、次のようになる。また、両者の意義素と両コーパスにおける特徴は表3にまとめた。

「匹」の意義素（先行研究と同様の点は①②③に当たり、相違点は④⑤⑥に当たる。）

- ① 動物下位分類の「比較的小さい」動物を数える。
- ② 動物全体をさすことができる。
- ③ 普遍、一般の性質を持っている。
- ④ 私的な場面、私的からの発言によく用いられる。

表3 「匹」と「頭」の意義素と両コーパスにおける特徴

	動物の大きさ (外在的)	助数詞の意義素 (内在的)	他の特徴	文体差による割合	
				「朝日新聞」	「Yahoo! 知恵袋」
匹	比較的小さい	私的（場面・発言）、 全体をさす、 普遍性（一般的・普通）、 人間に親しみやすい	比喩・慣用 総称 動物以外	63%（優勢）	87%（優勢） 私的・日常的
頭	比較的大さい	公的（場面・発言）、 一部をさす、 特殊性（専門的・学術的・ 機能的・費重的・知能性・ 恐怖・稀少）	総称（制約有）	37%（劣勢） 公的・専門的	13%（劣勢）

- ⑤ 動物以外数える対象が豊富であり、使用範囲が広い。
- ⑥ 慣用や比喩的表現中に用いられる。
「頭」の意義素（先行研究と同様の点は①に当たり、相違点は②③④に当たる。）
- ① 動物下位分類の「比較的大きい」動物を数える。
- ② 動物全体をさすときは、公的・専門的な場面に限られる。
- ③ 普通ではない、特殊で、専門的、学術的、機能的、貴重的、知能的、恐怖、稀少のある動物を数える時に使用する性質を持っている。
- ④ 公的な場面、公的からの発言によく用いられる。

注

- (1) 動物の種類分け方は動物それぞれの「名称」でまとめた。実在しない、架空の世界のものも調査対象とする（例えば「龍」など）。また、「～犬」「～虫」の場合、それぞれ「犬」「虫」の下位分類とする（例えば、「盲導犬」を「犬」と一括した）。また、動物名称の表記は用例の多いものによる。
- (2) 新聞には各社が定めた用語の基準がある。朝日新聞については、「助数詞適用の基準」動物の項目に次のようなことを記載している。a 動物は「匹」で数えるのを原則とする。ただし、鳥類は「羽」で数える。大型の獣類は「頭」で数えることもある。魚類を数える「尾」は、なるべく使わない。b 助数詞の選択に迷う場合、また種類の異なる動物を一括して数える場合には「匹」を使う。
- (3) 本稿に取り上げた用例は全て原文を引用したものである（用例は長すぎる場合、適宜一部を省略し、「～」で示す）。また、「Yahoo! 知恵袋」の用例にある誤字・脱字も元のままである。

参考資料

朝日新聞「聞蔵」<http://database.asahi.com/library2/>
 朝日新聞社『朝日新聞の用語の手引』（05-06年版）p 125
 国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（2009年版）

参考文献

松本曜（1991）「日本語類別詞の意味構造と体系－原型意味論による分析－」『言語研究』99. PP.82-106
 飯田朝子（1999）『日本語主要助数詞の意味と用法』東京大学大学院人文社会系研究科博士論文
 藤原多賀子（2004）「頭／匹／羽の用法とカテゴリー化の過程」西光義弘・水口志乃扶編『－シリーズ言語対照3－外から見る日本語 類別詞の対照』くろしお出版

（たお・ぴん 本学非常勤講師／本学衣笠総合研究機構補助研究員）